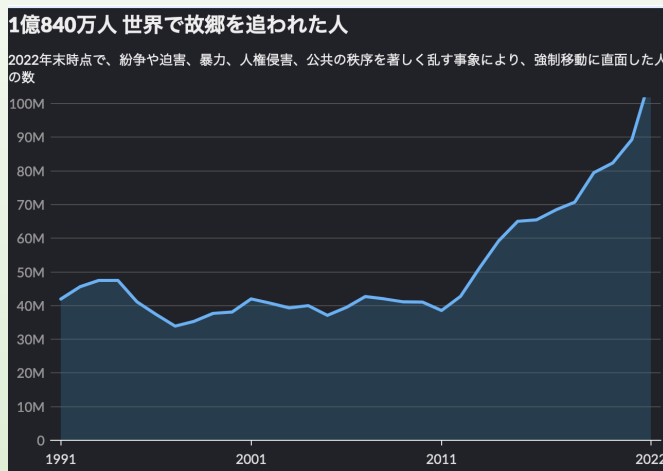


# 難民支援の動向とHDPネクサス



UNHCR・グローバルトレンドズ・レポート2022より引用  
([https://www.unhcr.org/jp/global\\_trends\\_2022](https://www.unhcr.org/jp/global_trends_2022))

日時：2024年1月19日（金曜） 14時20分 - 15時50分

場所：宇都宮大学峰キャンパス 5B21教室

1月19日に古本秀彦氏をお招きし、難民支援と国際機関での勤務経験を中心にご講演いただきます。この機会に国際平和に係る実務についての理解を深めましょう！

▶ プログラム

司会：高橋世羽（国際2年）吉田桜華（国際1年）

■ 基調講演「難民支援の動向とHDPネクサス（人道と開発と平和の連携）」

**講演者：古本秀彦（ふるもと ひでひこ）**

サセックス大学現代紛争平和学修士。JICA、広島平和構築人材育成センター、UNHCRイラン事務所、イエメン事務所、内閣府国際平和協力研究員、UNHCR駐日事務所に勤務。2020年から23年までUNHCR職員としてJICAへ出向し、UNHCR-JICA連携を担当。



イラクにて

■ 学生研究発表

「国連平和維持活動と緊急人道支援活動の関係性に対する考察

～なぜICRCはPKOと協働しないのか、UNHCRとの比較を通して～」

報告者：鈴木望夢、横井春香、橘海翔、佐藤野乃果（UIPJ/国際2年）

■ 専門家からのコメント

■ フロアからの質疑応答

■ 閉会の言葉・総括：藤井広重 国際学部准教授

本公開セミナーは、「グローバル実践力基礎演習II」、「国際法」および「国際法ゼミ」の講義の一環として開催されますが、一般の方の参加も歓迎いたします。来校の際は公共交通機関をご利用下さい。先着順とし、参加申し込みは必要ありません。

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター 国際平和と人権・人道法研究会

問い合わせ先：藤井広重 ([fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp))